

令和6年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	令和6年9月5日(木)福岡第2合同庁舎2階 共用第2・3会議室
委員	牧角 龍憲(大学名誉教授) 松藤 泰典(大学名誉教授) 諏佐 マリ(大学准教授) 柴田 祐二(公認会計士) 本岡 大祐(弁護士)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和6年4月1日 ~ 令和6年6月30日		
審議対象件数	24件		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	9件	(審議概要) 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 談合疑義案件情報について 4 低入札価格調査情報について 5 抽出事案について	
建設工事	一般競争 (基準額以上)		0件
	一般競争 (基準額未満)		6件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	3件		
	意見・質問	回答	
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	【建設工事等発注実績について】 ・ 「基準額以上」「基準額未満」とあるが、「基準額」の具体的な金額を教えてください。 【指名停止の措置状況について】 特に意見なし 【談合疑義案件情報について】 該当案件なし	・ 令和6年4月1日現在、建設工事にあつては8億1000万円、建設コンサルタント業務にあつては8100万円となっている。	

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>【低入札価格調査情報について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低入札価格調査とは、どのような場合に実施するものなのか。 <p>【抽出事案について】</p> <p>1 [国分(6)測量調査] (一般競争入札(基準額以上))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務の内容を説明していただきたい。 ・ 総合評価落札方式で発注した理由を説明していただきたい。 ・ 予定価格の算出方法を説明していただきたい。 ・ 入札状況調書を確認すると、1者が入札無効となっているが、その理由を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札者となるべき者の入札金額が調査基準価格を下回る場合、その金額で適正な履行が可能であるかを調査する低入札価格調査を実施し、落札者を決定している。 ・ 鹿児島県薩摩郡さつま町における火薬庫整備の候補地を調査するため、約14km²におよぶ航空写真及び航空レーザー測量を発注するものである。 ・ 通常の施設内の測量と異なり、測量範囲が非常に広範囲かつ大半が森林地帯であること、今後、施設整備を計画していくにあたり測量に高い精度が求められる業務であることを踏まえ、企業の専門的知識、技術及び創意等の技術力により品質向上が期待でき、技術等の評価が比較的大きな割合を占めることから、技術提案1課題を求める総合評価落札方式にて発注したものである。 ・ 測量業務については、国土交通省監修の「設計業務等標準積算基準書」に基づき算出している。また、既設構造物調査など積算基準が無いものについては、見積を徴収している。 なお、その見積については、熊本防衛支局の年度単価として、3者から年度当初に見積を徴収したものである。 ・ 本案件において、調査基準価格を下回った者に対し履行確実性審査のための追加資料の提出を求めたところ、追加資料の提出がなか

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>2 [国分(6)土質調査] (一般競争入札(基準額以上))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務の内容を説明していただきたい。 ・ 予定価格が高くなった理由を説明していただきたい。 ・ 発注段階では、ボーリング調査の数量を確定できないため「約〇〇本」という曖昧な数量での発注になっているとのことだが、どのようにして概算の数量を算出したのか。 ・ 価格競争ではなく総合評価方式で発注するにあたり、どのような評価を行ったのか。 ・ 本業務である土質調査は、価格帯が大きいにも関わらず、技術提案を求めない簡易型となっているが、前段の測量調査は、土質調査よりも価格帯が小さいにも関わらず、技術提案を求める標準型1:2となっている。 	<p>ったため、入札無効としたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前段と同様、火薬庫整備の候補地の概略調査として各種土質試験等を実施し、別途発注する予定の配置検討業務の結果を踏まえ、詳細調査として機械ボーリング調査等を実施する業務である。 ・ ボーリング調査の数量が非常に多く、また、山間部の森林地帯での調査であり、機材運搬のための仮設索道の整備が必要となることから高価となった。積算については、国土交通省監修の「設計業務等標準積算基準書」等に基づき適切に算出している。 ・ 地中式火薬庫を設置する場所を具体的に確定するためのボーリング調査となるので、あくまで単位面積あたり1本という概算の数量としている。 契約締結後、具体的にどの場所を調査すれば良いのか、受注者の見識等を得ながら数量を確定させていく計画である。 ・ 本業務は簡易型の総合評価方式であり、企業及び技術者の同種または類似業務の実績、業務成績及び優秀業務顕彰を評価項目として設定している。 ・ 前段の測量調査において技術提案を求めた理由については、前段で述べたとおり、高い測量精度が求められる業務であることを踏まえたためである。 一方、土質調査については、ボーリングの実施箇所は多いものの

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>測量調査と土質調査とで総合評価方式のタイプを変更した理由を説明していただきたい。</p> <p>3 [築城飛行場周辺地区除草工事 (1工区)] (一般競争入札 (基準額未満)) [築城飛行場周辺地区除草工事 (2工区)] (一般競争入札 (基準額未満)) [築城飛行場周辺地区除草工事 (3工区)] (一般競争入札 (基準額未満)) [築城飛行場周辺地区除草工事 (4工区)] (一般競争入札 (基準額未満)) [築城飛行場周辺地区除草工事 (5工区)] (一般競争入札 (基準額未満)) [築城飛行場周辺地区除草工事 (6工区)] (一般競争入札 (基準額未満))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前は落札率が30%～40%と低かったものの、現在は70%～90%と上昇している理由を説明していただきたい。 ・ 毎年同じような落札者となっているが、競争性は確保されているのか。 	<p>実施手順等が定型化され工夫の余地が極めて小さい標準的な機械ボーリングであり、各種土質試験の内容も一般的な土質調査と大きく変わるものではないため、技術等の評価の割合が比較的小さいことから、企業及び配置予定技術者の能力のみによる評価で十分と考えられたため、技術提案を求めない簡易型とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業員の人件費が高騰していることに加え、円安の影響により草刈機に使用する燃料類や、害虫の発生を防止する消毒薬といった資材価格が高騰していることにより、落札率が上昇しているのではと考えられる。 ・ 県や市町村が発注する除草工事の入札参加者にも声掛けを行っており、今年度においては、複数の工区において新規参入の業者が落札しているため、競争性は確保されているものと考えている。

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度と令和4年度で落札率が大きく上昇している理由を説明していただきたい。 <p>4 [九州防衛局（6）技術審査業務]（一般競争入札（基準額未満））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務の内容を説明していただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度以降の同様の業務において、全て1者応札かつ落札者も同じということであるが、1者応札を避ける工夫は行っているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札かつ落札者も同じ状況が続くと、余計な疑念を抱かれることにもなるので、今後も何らかの工夫を続けていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により作業員の人材確保が難しくなったことで、人件費が大幅に高騰したものと考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術提案を伴う建設工事の発注において、業者からの技術提案を確認・分析・整理する発注者支援業務である。 公平性・中立性を確保しつつ、技術提案の内容を審査し技術的所見を整理するといった技術的能力が求められるものであり、建設コンサルタント業務の有資格者でないと履行ができない業務である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加資格として求める同種・類似業務実績の拡大・緩和や、本業務の仕様書等をダウンロードした業者に対する働きかけを逐一行っているところである。 また、技術提案の課題数を2課題から1課題に減らしたり、業務件名を単純に「技術審査業務」に見直すといった工夫を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 承知した。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○ 委員からの意見・質問		なし	
○ それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件数と落札率、応札率の分析 ・契約件数と一位不動・順位不動の分析 ・低入札、不調、不成立事案の分析 	
		意見・質問	回答
○ 委員からの意見・質問		なし	
○ それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	